

通信インタフェースの標準化を推進するための検討会

報告書

検討会開催日	平成 29 年 3 月 13 日 (月)	自治体名	栃木県
事業実施年度	平成 25 年度 (平成 26 年度 に繰り越して 実施)	事業概要	東日本大震災以降の徹底した省エネルギーの取組の定着を図るため、本庁舎及び地方合同庁舎 10 庁舎におけるエネルギー使用量を各庁舎のディスプレイ及びWEB上で公開。
検討会構成員	学識経験者 2 名、エネルギー関係事業者 3 名、地域経済等関係事業者 1 名 (計 6 名)		
標準化活動を 推進するための 検討会における 検討内容	システムの活用状況及び県内への普及に向けた県の取組について説明し、構成員との意見交換を行った。		
議事概要	<ul style="list-style-type: none"> ● システム導入の経緯、構成及び運用状況について事務局から説明 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 県庁スマートエネルギーマネジメントシステムについて システム導入の経緯及び概要について説明した。 ➢ 県庁の電力使用状況等について 平成 28 年の各庁舎の電力使用量について、システムで収集したデータから作成した日間変動のグラフを用いて説明し、併せて、平成 27 年の日間変動との比較を行った。 ➢ システムの活用及び県内への BEMS の普及について (スマートグリッド通信インタフェースの標準化活動の推進) 庁内におけるシステムの活用事例及び県内への普及に向けた取組事例について説明した。 ● 各委員からの意見等 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 各職員の省エネ行動にインセンティブを与えるために、システムで収集したデータ等の効果的な活用が必要。システムのみでは効果は限定的。 ➢ 活用方法としては、エネルギー使用量の現状把握に加えて、これを踏まえた庁舎管理者等による具体的な省エネ行動の指示まで行くと、効果は高まるのではないか。 		